

# News Release

2024年4月22日  
 一般社団法人 日本電機工業会 (JEMA)

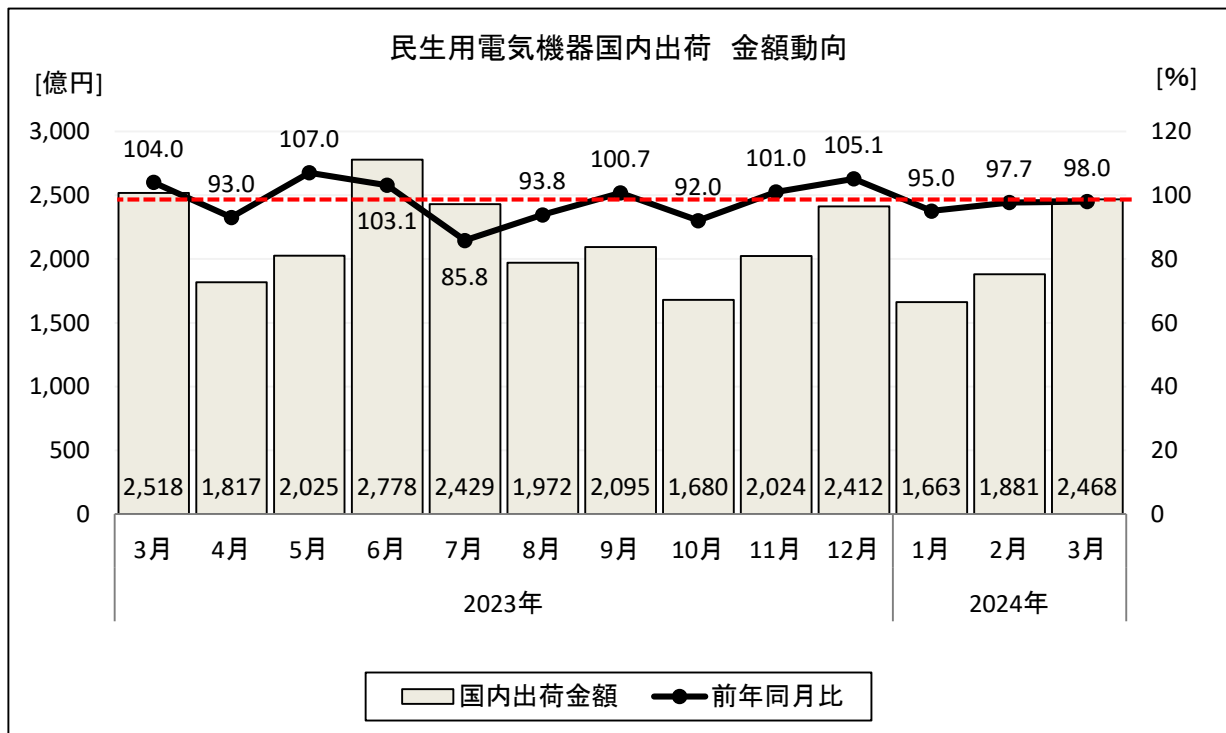
## 民生用電気機器 2024年3月度ならびに 2023年度国内出荷実績

### 【概況】

民生用電気機器の2024年3月度の国内出荷金額は、2,468億円、前年同月比(以下前年比と略記)98.0%と3カ月連続のマイナスとなった。

製品別の国内出荷金額を見ると、ルームエアコンは856億円、前年比97.1%と2カ月連続のマイナス、電気冷蔵庫は384億円、同99.7%と2カ月ぶりのマイナス、電気洗濯機は376億円、同91.9%と9カ月連続のマイナスとなった。

2023年度は、2兆5,245億円、前年度比97.6%と2年ぶりのマイナスとなった。外出機会がコロナ禍以前の水準に戻ったことにより、旅行・外食等のサービス消費へシフトしたことや、物価高騰により消費者の節約志向が強まったことが影響した。一方で、製品単価の上昇による出荷金額の押し上げがあり、直近の10年平均(2兆4,128億円)を上回る水準は維持した。



	2023年										2024年			2023年度計
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
金額 (億円)	2,518	1,817	2,025	2,778	2,429	1,972	2,095	1,680	2,024	2,412	1,663	1,881	2,468	25,245
前年比 (%)	104.0	93.0	107.0	103.1	85.8	93.8	100.7	92.0	101.0	105.1	95.0	97.7	98.0	97.6

## 【 2024 年3月度ならびに 2023 年度主要製品の国内出荷（数量） 】

### ● ルームエアコン

- ・ 2024 年3月は、1,048 千台、前年比 96.8%となり、7ヵ月ぶりのマイナスとなった。前年同月は下回ったものの、3月単月として過去3番目の高水準となった。
- ・ 2023 年度は、8,775 千台、前年度比 96.0%となり、3年連続のマイナスとなった。2023 年の夏は猛暑であったが、前年が高水準だったため、その反動を受けた。その結果、年度計では前年を下回り、7年ぶりに 900 万台を割った。

### ● 電気冷蔵庫

- ・ 2024 年3月は、348 千台、前年比 95.0%となり、2ヵ月ぶりのマイナスとなった。
- ・ 2023 年度は、3,445 千台、前年度比 95.1%となり、3年連続のマイナスとなった。電気冷蔵庫の約 45%が「401L 以上」の大型タイプとなっている。

### ● 電気洗濯機

- ・ 2024 年3月は、439 千台、前年比 93.4%となり、9ヵ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2023 年度は、4,150 千台、前年度比 96.7%となり、3年連続のマイナスとなった。「ドラム式洗濯乾燥機」は、959 千台、同 101.9%とプラスとなり、年度として4年連続で過去最高の出荷数量を更新した。

### ● 電気掃除機

- ・ 2024 年3月は、495 千台、前年比 114.0%となり、2ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ 2023 年度は、5,392 千台、前年度比 94.1%となり、4年ぶりのマイナスとなった。「縦形(スティック形)」は、軽量化や吸引力を強化した製品がユーザーの支持を集め、電気掃除機に占める構成比は 10 年連続で伸長し、7割に届くまでとなっている。

### ● 電子レンジ

- ・ 2024 年3月は、429 千台、前年比 95.1%となり、8ヵ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2023 年度は、3,160 千台、前年度比 89.7%となり、2年連続のマイナスとなった。幅広い調理機能を備えた「オープンレンジ」は人気が高く、電子レンジの約 65%を占める。

### ● ジャー炊飯器

- ・ 2024 年3月は、499 千台、前年比 95.5%となり、6ヵ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2023 年度は、4,544 千台、前年度比 93.8%となり、4年連続のマイナスとなった。ジャー炊飯器の約 73%を「IH 式」が占めており、ご飯の食味や食感を追及した高機能製品の需要は継続している。

### ● IH クッキングヒーター

- ・ 2024 年3月は、53 千台、前年比 77.0%となり、12ヵ月連続のマイナスとなった。
- ・ 2023 年度は、603 千台、前年度比 82.5%となり、2年ぶりのマイナスとなった。IH クッキングヒーターの約 95%が「2口以上ビルトイン型」となっている。

以 上